

令和5年産米の出荷に向けて

令和5年産米の出荷に向け、JAでは下記方法で米の出荷作業労力の軽減をお手伝いします。

・個人調製米の庭先集荷

お電話にて作業所等へ米の集荷に伺います。

・個人調製フレコン出荷

主食用米:あきたこまちスタンダード・コシヒカリ(プレミアム米・JA米)・みずかがみプレミアム米・きぬむすめ、

備蓄米:(あきたこまち・コシヒカリ・キヌヒカリ・日本晴)、飼料用米

フレコンでの出荷により、作業の軽減ができます。

※計量機等の設備が必要となります。

・乾燥調製施設への主食用米の本乾燥粳出荷

自家乾燥した粳(水分16%以下)を低料金にて施設で荷受けします。

粳摺り・粳殻捨て等の作業から解放されます。

利用料金 乾粳60kgあたり 1,122円(税込)

※立毛での圃場乾燥は対象としません。

ご利用につきましては、事前のお申し込みが必要となります。

申込書は各地域のTAC担当がお配りさせていただきます。

詳しくは各地域のTAC担当へお問い合わせ下さい。



**申込期限:
8月18日(金)**

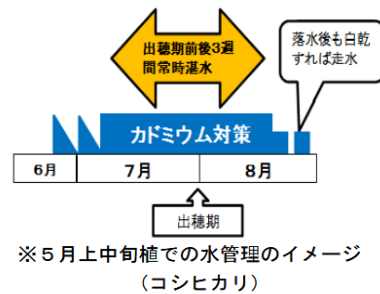
◆現在の生育状況

5月中下旬の低温や田植え時以降の強風、還元障害による生育停滞等の影響で、圃場によりばらつきがあります。また、5月29日の梅雨入り以降雨天が多く、いもち病が蔓延しやすくなっています。今後の管理にご注意ください。

★今後の栽培管理

1. 湛水管理を確実に

- ・出穂前後各3週間は湛水管理を確実に行いましょう。
- ・尻水戸を閉じ、かけ流しをせず、田面が露出しないように管理しましょう。



2. カメムシ対策！畦畔を2回草刈と薬剤防除の徹底を！！

- ・斑点米の原因となるカメムシ類は、ヒエ等イネ科雑草の穂を好み、畦畔に集まります。そこで、**イネの出穂3週間前（7月10日頃）と出穂期（7月30日頃）の2回草刈り**を行い、カメムシ類を寄せ付けないようにしましょう。



斑点米カメムシの防除薬剤が変更されています！

令和5年産の**プレミアム米・スタンダード米**では指定成分の変更により

◆ 本田防除剤(カメムシ類)

- 【スタークル粒剤】
- 【スタークル粉剤DL】
- 【スタークル液剤10】
(ネオニコチノイド系)

成分名：ジノテフラン

使用できません！



変更しています！

- 【キラップ粒剤】
- 【キラップ粉剤DL】
- 【キラップフロアブル】

(フェニルピラゾール系)

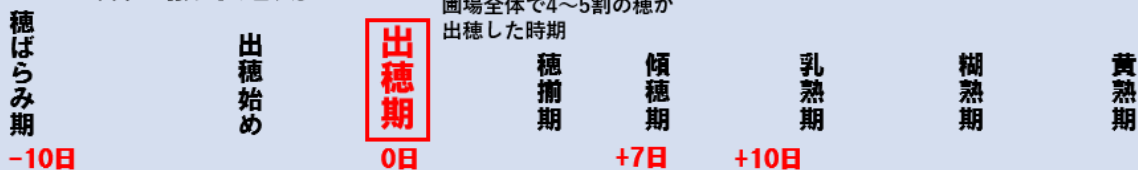
成分名：エチプロール



キラップ剤の上手な使い方

● 斑点米カメムシ類の散布適期

※出穂期
圃場全体で4~5割の穂が
出穂した時期



キラップ
粒剤

散布適期

稲に有効成分をしっかりと
吸わせることがポイント

キラップ
フロアブル
粉剤DL

斑点米カメムシ類の散布適
期は、出穂期を基準に！

散布
適期



● 水管理について(キラップ粒剤)

- ▶ 散布時は湛水状態(水深3~5cm)とし、水口および水尻を止めてください。
- ▶ 散布後少なくとも4~5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水およびかけ流しをしないでください。

3. いもち病に注意しましょう

7月12日に県内にいもち病注意報が発令されました！

先月末から今月初旬にかけて、感染好適条件が連続して出現しました。この気象条件の場合、約2週間後にいもち病の増加が始まります。近年いもち病による収量減が多発していることから、圃場をよく観察し、発生を認めたら下記薬剤を参考に防除をしましょう。



令和5年(2023年) BLASTAM 結果		今津	長浜	米原	南小松	彦根	東近江	大津	信楽	土山
6月22日	木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月23日	金	●	●	-	-	-	○4	-	-	-
6月24日	土	●	-	-	-	-	-	-	-	-
6月25日	日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月26日	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月27日	火	●	●	●	●	●	-	?	-	-
6月28日	水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月29日	木	●	●	●	●	-	-	●	-	●
6月30日	金	-	-	●	●	●	●	-	-	-
7月1日	土	-	●	-	●	-	○2	-	●	-
7月2日	日	●	●	●	-	-	○2	○2	●	●
7月3日	月	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[JPP-NET版BLASTAMの判定結果の指標]

●: 好適条件(湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある。)

いもち病 予防・治療剤一覧

種類	剤名	剤型	10a使用量	使用時期	使用回数 : 本剤
予防剤	コラトップ	粒剤5	3~4kg	葉いもち: 初発10日前から初発時 穂いもち: 出穂30日目~5日前	2回以内
		ジャンボP	500~650g	葉いもち: 初発20日前から初発時 穂いもち: 出穂30日目~5日前	
	ゴウケツ	粒剤	3~4kg	出穂5日前まで 但し、収穫30日前まで	1回以内
治療剤	ブラシン	粉剤	3~4kg	収穫7日前まで	2回以内
		フロアブル	1,000倍希釈 60~150L/10a	収穫7日前まで	
	トライ	フロアブル	1,000倍希釈 60~150L/11a	収穫14日前まで	2回以内

大豆情報(密植栽培の特徴・注意点)

今年6月下旬から断続的に雨が続いたことにより、大豆を慣行栽培から密植栽培へ変更し、播種作業をされている方が多いと思います。そこで密植栽培の特徴と注意点をご紹介します。

特徴と注意点

・条間は30~45cm!

は種子、生育色の早い時期から大豆による地表面の被覆割合を高め、条間からの雑草の発生を抑制します。

・播種量は8kg~10kg!

・中耕・培土を行わないことから、播種前からの雑草防除に注意し、雑草防除対策は入念に行います!

・梅雨明け後に密播栽培に切り替える場合、開花期~若莢期を把握し、生育に合わせて病害虫防除を実施します。

・台風などにより、倒伏しやすい傾向がみられます。

密植栽培の除草体系

1. 大豆播種前の非選択性茎葉処理除草剤

例:ラウンドアップマックスロード、バスタ液剤



2. 耕起・播種・土壌処理剤

例:エコトップP乳剤・粒剤



3. 選択性茎葉処理 (イネ科)

7月下旬~

ポルトフロアブル

雑草茎葉散布:

イネ科3~10葉期

4. 選択性茎葉処理 (広葉)

7月下旬~8月初

大豆バサグラン

雑草茎葉散布:

大豆2葉期~開花前

畦間雑草茎葉散布:

大豆生育期

5. 非選択性茎葉処理 (うね間処理)

バスタ液剤

株間処理:

大豆本葉5葉以降、雑草生育期

畦間処理:

雑草生育期

大豆情報(除草剤紹介)

近年、マルバルコウ・イヌホオズキが蔓延ってます！

難防除雑草に効果がある薬剤「**アタックショット乳剤**」をご紹介します。
 ○大豆生育期(本葉2葉期～開花期)の全面茎葉散布で一年生広葉雑草の防除ができ省力的です。
 ○右記の様な雑草を含め広葉雑草に高い効果を示し、帰化アサガオ類に対しても有望な対策剤として注目されています。
 ○処理翌日には効果が発現し、速やかに枯死、生育抑制に至ります。

使用時期: 収穫45日前まで、本薬剤使用回数: 1回

※イネ科雑草には効果が期待できないため、有効な体系処理剤を使用してください。
※薬害の恐れがあるため、購入の際には使用確認書の提出が必要となります。



マルバルコウ



イヌホオズキ



適用雑草及び使用方法 ※薬液が直接大豆にかかると薬害が現れることがあります。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地域	フルチアセットメチルを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
だいず	一年生広葉雑草	本葉2葉期～開花期前(雑草生育期)但し、収穫45日前まで	30～50ml /10a	100ℓ /10a	1回	雑草茎葉散布又は全面散布	全域(北海道を除く)	1回

※土壌処理剤との体系処理でお使いください。 ※えだめめには使用できません。

購入する際は、購買窓口等に用意している使用確認書の提出が必要となります。

☆右のような広葉雑草が多い場合は

大豆バサゲラン[®] (ナトリウム塩) 液剤

をおすすめします！



イヌタデ



アメリカセンダングサ

■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たりの使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンタゾンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
だいず	一年生雑草(イネ科を除く)	だいずの2葉期～開花期前(雑草の生育初期～6葉期)但し収穫45日前まで	100～150ml	100ℓ	1回	雑草茎葉散布又は全面散布(※)	2回以内(畦間処理は1回以内)
		だいずの生育期(雑草の生育初期～6葉期)但し収穫45日前まで	300～500ml			畦間雑草茎葉散布	

※使用方法の表記が変更になりましたが、従来通りの方法でご使用できます。

☆イネ科雑草が多い場合は

ポルトフロアフル[®] (イネ科雑草対象茎葉処理除草剤)

をご使用ください！



作物名	適用雑草名	使用時期	使用回数	10aあたり使用薬量	10aあたり希釈水量	使用方法
だいず	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期(イネ科雑草の3～10葉期) 収穫30日まで	1回	200～300ml	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25～50ℓ	雑草茎葉散布又は全面散布



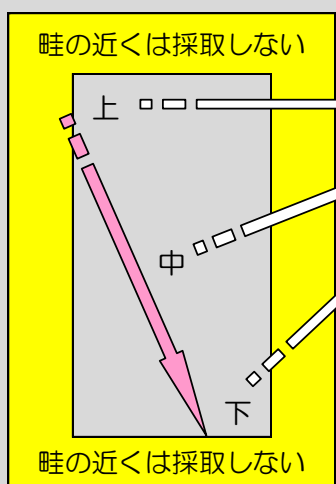
土壤分析

管内の農家を対象に、1件当たりサンプル5点(5筆分)まで**無料**で土壤診断を行っております。農作物は土づくりが基本です。現状の土壤環境を把握し、土壤診断結果に基づく適切な改善が重要となります。

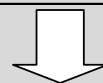
対象者：農家組合員

分析点数：1件あたり**5点**までとします。(5圃場分まで)

採土地点の決め方：日陰、河川、道路などの影響を受ける所を避け、畦より3m程入った所より採土する。圃場の上・中・下の3地点を斜めに採土して混合・試料とする。

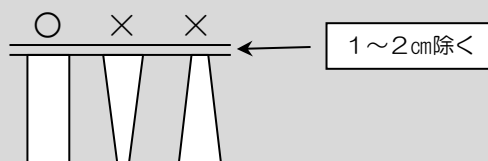


新聞紙の上などで乾燥して、できるだけ細かく砕きながらよく混ぜる→500g必要
(1mm以下のふるいで通します)



細かく砕いた土を袋に入れて、ご提出下さい。

採土方法：採土する部分の表土1~2cmを取り除き、その下から柱状に採土する。(縦5cm×横5cm×深さ10cm程度採土、錘状のような採土とならないようにする)



試料：上・中・下より採土した試料を新聞紙などの上で乾燥し、できるだけ細かく砕きながらよく混ぜる。(土が白くなるまで日陰でよく乾かし、1mm以下のふるいにかけます)

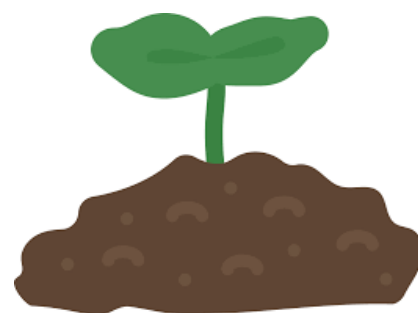
サンプル量：500g (中封筒に1杯程度)

土壤分析基本項目

水田：pH、CEC、りん酸、石灰、苦土、加里、けい酸、鉄、腐食
その他：pH、EC、CEC、硝酸態窒素、りん酸、石灰、苦土、加里

近年、水稻の収量・品質低下の原因の一つには、地力の低下が考えられます。ご自身の水田土壤の状態を調べ、不足している養分を補う事が収量・品質向上の第一歩です！

土壤分析をご希望の方は、お気軽に各担当TACまでご相談ください！！



JA健康寿命
100歳プロジェクト！

JA健診のご案内



JAでは、「組合員の健康と暮らしを支える活動」として巡回健診を行っています。お近くのJAにお越しただけで、病院と同様の人間ドックが受診できます！この機会にぜひご利用ください！

健診
日程

令和5年11月17日(金)・11月20日(月)・11月21日(火)(3日間)
締切日 令和5年10月6日(月)

開催
場所

JA北びわこ 本店別館(3日間)

申込書は5JA各支店・営農経済センター窓口にて用意してあります！
また、JA北びわこホームページからもダウンロードできます！
https://www.jakitabiwako.jp/news_topics/topics-2837/

お問合せ・お申込みは

長浜市湖北町速水2721番地
JA北びわこ 本店 暮らしの活動課
☎ 78-8777 FAX 78-2522



お得な情報！

長浜市の助成をご存知ですか？

★国保 40歳～75歳未満 人間ドック助成(年度中1回まで)
*年齢基準は健診当日の年齢です。

長浜市の国民健康保険被保険者の方は、健診料金の一部が助成されます。
国保税(料)を完納されている40歳以上75歳未満の方(健診受診日当日の年齢)は、必ず受診前に市窓口に申請してください。手続きについては長浜市 保険医療課(65-6512)にお問い合わせください。

助成内容 : レディースドック、メンズドック、JAドック、オプション健診費用の2分の1(上限2万)が補助されます。

※定員(750人)に達し次第受付が終了しますのでお早めにお申し込みください！

注意！ オプション健診のみでの受診は、対象となりません。

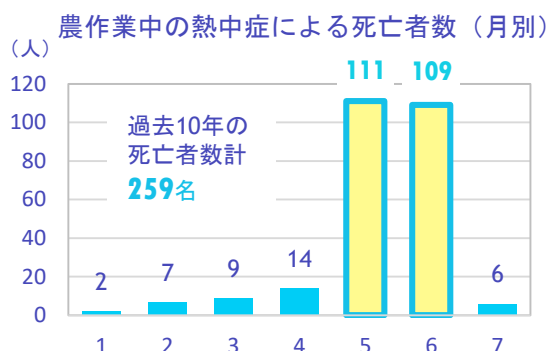
農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約**85%**が**7~8月**に発生している一方で3~6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

